

間接補助事業の名称： BaaS実現を目指した、バッテリー診断・流通システムの実証

<事業概要>

バッテリーの二次利用を推進する上で、バッテリーの利用履歴が適切に管理されていないことによる、残存価値の不確実性が障壁となっている。本事業では、ブロックチェーンの技術を使うことによって、バッテリーの利用履歴を確実に保存・管理し、そのデータの改ざんを防ぐことを可能にすることを旨とする。AZAPA所有のバッテリー管理システムにブロックチェーンを組み込むことで、「いつどこで、どのように利用されたか」を確実に記録するシステムを実装する。実証実験においては、取得データの信頼性や過不足、データ粒度などが事業化において十分か、実用化に向けて改善点があるかなどの確認を行う。

<実施体制図>

